

INDEX

2 TOPICS

製鐵品質管理室がゼロ災1万日達成/商事の白須さんが「環境コンクール」で優秀賞/madoシリーズに「グッドデザイン賞」「えるぼし」事例で拓伸会紹介ほか

- 6 北風休憩
拓南商事と拓南製作所の4組

- 7 連載「拓南余話」⑥

*「改善活動発表ダイジェストド・後編」は次号以降に掲載致します
【新北風】秋から初冬頃にかけて吹く北風。冬の訪れを感じさせる。『沖縄語辞典』(研究社)より

拓伸会会報(隔月発行)

〒900-0025

沖縄県那覇市壱川13の2の4 [拓南ビル3F]
拓南本社内『たくしんNEWS』編集委員会
TEL098-831-8228 FAX098-832-0586

拓南ブース、元気に復活

3年ぶりの本格開催 沖縄の産業まつり



3年ぶりに北明治橋アーチ前でテープカット



古波津会長による開場あいさつ

拓伸会は、第3会場のサブグランドに拓南ブースを設置し、グルーピングをあげて取り組むリサイクル工程や時代のニーズに応える技術をアピールした。

拓南ブースは、拓南商事・

拓南製鐵・拓南製作所・沖縄

コートック・沖縄コートック

工業の事業を紹介する「合同

拓伸会の技術をアピール

今回のまつりが、今後開催されるイベントの参考になり、コロナ禍で疲弊した県経済の活性化につながればと願っています」

今回のまつりが、今後開催されるイベントの参考になり、コロナ禍で疲弊した県経済の活性化につながればと願っています」

今回のまつりが、今後開催されるイベントの参考になり、コロナ禍で疲弊した県経済の活性化につながればと願っています」

開場式は10月21日、北明治橋アーチ前で行われた。大会実行委員会会長を務める沖縄県工業連合会の古波津昇会長(拓伸会会長)が開場あいさつに立ち、次のようにアピールした。

「沖縄の産業まつりが、3年ぶりに奥武山公園に帰つてきました。」

産業まつりは、年々洗練されていく県産品の最新情報に接する絶好の機会です。産業まつりが、人と人、そして人と産業とをつなぐ絶好の場となり、多くの出会いが生まれ、沖縄の産業を元気づける一助になれば幸いです。

産業まつりの後には、大型イベント等が控えています。

今回のまつりが、今後開催されるイベントの参考になり、コロナ禍で疲弊した県経済の活性化につながればと願っています」

その後、玉城デニー県知事、来賓とともにテープカットが行われた。



拓南ブース前で



「配筋モデル」も展示

展示エリアを中心に、「配筋モデル」などを設置した

「中庭エリア」、「エコバッタ」などの「展示・販売エリア」、

遊戯も楽しめるスタンプラリーの「受付・イベントエリ

ア」で構成した。

開場前に、ディレクターを

務めた拓南本社の石嶺佑騎

さんは「奥武山公園での開催は3年ぶりなので、大勢いらっしゃる一般の方々に拓南グループのことを知つてもらいたい、楽しんでもらえるようにしよう」という思いで会場づくりに取り組みました。まつりの期間中は、拓伸会全体で延べ約160人のスタッフが来場者をおもてなししま

す」と抱負を述べた。

石嶺ディレクターによる

と、「合同展示エリア」では、各社の展示パネルを一新し

た。今まで各社でそれぞれ

つくり、設置していたパネルのデザインをそろえ、グル

プの統感を出した。

「中庭エリア」では、シル

バー鉄筋、T-ゴン、ネジテ

ツコンでつくられた建物の

骨組み「配筋モデル」を展示

『一貫より』担当者が、各商品の特徴を説明し、人手不足対策や工期短縮につながる技術であることなどをアピールした。

「展示・販売エリア」では、

拓南商事が石嶺商事とコラボし、廃自動車シートの本革をリサイクルした本革製品(財布・印鑑入れ・キーホルダー・名刺入れ・お守り)を初めてお披露目した。

また、2022年度「グッドデザイン賞」を受賞したmadoシリーズ(廃自動車のサイドガラスを原料に拓南商事とRGC株式会社が共同開発した琉球ガラス商品)

ad oシリーズ(廃自動車のシートベルトをおしゃれにリサイクルしたECO SPICE(拓南商事、琉球

リンクージ、すばるが共同開発したエコバッグ)の展示販売も行った。

「受付・イベントエリア」

では遊戯場を設け、沖縄JIS協会の展示コーナーを皮切りに「合同展示エリア」等を見学したスタンプラリーの参加者に「イライラ棒」「輪投げ」を楽しんでもらつた。「輪投げ」は初登場で、鉄筋棒付き台座(拓南ロゴマーク)は拓南製鐵製。

スタンブラーの後は楽しい遊戯
販売・展示エリア(廃自動車シートの本革モリサイクル)



合同展示エリア



ボルト・ナット入れ・お守り)を初めてお披露目した。また、2022年度「グッドデザイン賞」を受賞したmadoシリーズ(廃自動車のサイドガラスを原料に拓南商事とRGC株式会社が共同開発した琉球ガラス商品)

ad oシリーズ(廃自動車のシートベルトをおしゃれにリサイクルしたECO SPICE(拓南商事、琉球

リンクージ、すばるが共同開発したエコバッグ)の展示販売も行った。

「受付・イベントエリア」

では遊戯場を設け、沖縄JIS協会の展示コーナーを皮切りに「合同展示エリア」等を見学したスタンプラリーの参加者に「イライラ棒」「輪投げ」を楽しんでもらつた。「輪投げ」は初登場で、鉄筋棒付き台座(拓南ロゴマーク)は拓南製鐵製。

「スタンブラーの後は楽しい遊戯
販売・展示エリア(廃自動車シートの本革モリサイクル)



「沖縄タイムス」10月21日付

「密」を避け特産品PR 新製品の学術的情報発信

「スタッフとしては、興味を持って楽しんでいるお客様の笑顔が見られて、開催で見てよかったです」と見学者としては、工場見学

では、庄原優奈さんは次のように感想を述べた。

本格開催の拓南ブースにはスタッフとして初めて参加した拓南製鐵の又吉颶人さんは、次のように感想を述べた。

「スタッフとしては、興味を持って楽しんでいるお客様の笑顔が見られて、開催で見てよかったです」と見学者としては、工場見学

庄原優奈さん(拓南本社)



八木社長(右)より盛島室長へ表彰状授与



品質管理室一同。(左から)我謝佑太氏、玉榮力氏、山岡一成主任、盛島守礼室長、谷本玲美菜氏、宮城真奈弥氏

「産業まつりならでは」

ゼロ災1万日達成で表彰

拓南製鐵品質管理室

9月

工場稼働から27年継続中

品質管理室室長 盛島守礼

拓南製鐵の品質管理室がゼロ災1万日を達成し、9月1日の安全祈願祭で八木実代表取締役社長より表彰された。そこで、盛島守礼室長に感謝状を寄稿してもらつた。

ゼロ災意識を維持し、また日々の3S活動や非定常作業のKTTで不安全を排除し、さらに向上できるよう品質管理室一体となり推進していきます。

関係者皆様のお力添えもあり、1995年4月1日から起算し、今年2022年8月17日で、品質管理室のゼロ災継続日数1万日を達成しました。

1995年は、ご存知の通り、新中城工場(現・中部事業所)が動き出した年であり、当工場が稼働して約27年間ゼロ災害を継続していることになります。

諸先輩方の記録を引き続き、1万日を達成できることをうれしく感じています。

品質管理室(鉄筋および石灰試験室)は、工場と比較すると灾害が起こりにくい場所です。ただし、工場にも出

本行動も毎日唱和しており、簡単な事例紹介も加えて伝えてます。

油断すると災害は発生してしまいます。朝礼やワンボイントレクチャーを通して、ゼロ災意識を維持し、また協力をお願い申し上げます。

本行動も毎日唱和しており、簡単な事例紹介も加えて伝えてます。

油断すると災害は発生してしまいます。朝礼やワンボイントレクチャーを通して、ゼロ災意識を維持し、また協力をお願い申し上げます。

白須さん(商事)が「作文」優秀賞 SDGsテーマの「環境コンクール」で

10月

祖父のSDGs

拓南商業部清掃班 白須裕子

madoシリーズに「グッドデザイン賞」
「協働で継続可能な」と高評価 JDP
10月



白須さんは、大型スクリーンに映し出された受賞作品の傍らで朗読

(社)沖縄県産業資源循環協会(設立30周年記念事業推進委員会)主催の「環境コンクール」で、拓南商事営業部清掃班の白須裕子さんが「作文」の部で優秀賞(副賞・図書券7千円分)を受賞した。

同協会は、「SDGs循環社会(ゴミ・廃棄物)」をテーマに、「作文」「図画」「写真」「川柳」の各部門で4R(リユース・リデュース・リユース・リサイクル)の研

究や作品を募集していた。応募資格は小学生以上。応募期間は6月15日～8月25日。4部門に寄せられた作品数は251点で、6歳から70代まで幅広い年齢層から応募があつた。受賞者は計16人で、「作文」部門の受賞者は、最優秀賞1人、優秀賞2人、特別賞1人だった。

優秀賞に輝いた白須さんの作品は、わが子とのやりとり、祖父の思い出を振り返りながら「私なりのSDGsの取り組み」を紹介している。

「環境コンクール」の表彰式は10月14日、沖縄県産業資源循環協会の設立30周年記念式典・記念祝賀会で行われた。会場は、沖縄ハーバービューホテル彩海の間。

表彰式の席上、県産業資源循環協会の川上哲史副会長(拓南商事代表取締役社長)が開会のあいさつに立ち、「応募してくださった皆さんには、小学1年生から70代の方々までと年齢層が幅広く、環境に対する意識の高さをあらためて感じた。ひとりひとりの受賞者に対し、熱い拍手をもって讃えていただ

テレビの特集やネットの記事を見たときには何かしなければと思うが、日頃の生活に追われて真剣に考える機会は多くない。コンクールで作文を募集すると知り、改めて考えるきっかけになると思った。私が家族で心掛けていることは、商品を買う前に必要かということだ。小学生の子供たちは、店へ出掛けると何か欲しいと言う。明確な物が欲しいのではなく、何か購入したいらしい。このように購入した商品は大事にすることもなく、たいてい不要になってしまう。ゴミをなるべく出さないために買い物を通して伝えるのが、今の私にできることだ。

私の祖父は、人が捨ててしまう物から再利用で手作りし、また、物を大切にする人だった。祖父のソファの横にはティッシュ箱等で作った物入れが私の幼いころからあった。すきからホウキを、ビニールなど防水ができる雑材で帽子を作っていた。捨てればゴミ、活かせれば資源だというように、祖父には素敵な材料だったはず。また、人農家だったので使用しているトラクターは3年前の物だ。母が言うには、亡くなる前まで、あれもしたい、これもしたいと言っていたようだ。祖父のSDGsは頭の体操も兼ねていたんだ、と思った。

大それたことはできないが、先人の知恵も見習いながら、私なりのSDGsに取り組んでいきたい。

きたい」と会場に呼び掛けた。

受賞者は部門ごとに登壇し、受賞作品をそれぞれ朗読あるいは紹介した。白須さんは、大型スクリーンに映し出された受賞作品の傍らで、

「環境コンクール」の表彰式は、沖縄県産業資源循環協会の設立30周年記念式典・記念祝賀会で行われた。会場は、沖縄ハーバービューホテル彩海の間。

表彰式の席上、県産業資源循環協会の川上哲史副会長(拓南商事代表取締役社長)が開会のあいさつに立ち、「応募してくださった皆さんには、小学1年生から70代の方々までと年齢層が幅広く、環境に対する意識の高さをあらためて感じた。ひとりひとりの受賞者に対し、熱い拍手をもって讃えていただ

るよう」などとアドバイスを受けました。それが、SDGsについて考えてみる機



祝福に駆け付けた拓南商事の皆さんと(中央が白須さん)

表彰状授与



「環境コンクール」表彰式会場前に展示(10月14日)

リサイクル事業を手掛けた拓南商事の最終工程で残る廃自動車のサイドガラスを活用したRG C株式会社(琉球ガラス村)のmadoシリーズが10月7日、公益財団法人日本デザイン振興会(JDP)主催の2022年度「グッドデザイン賞」を受賞した。

JDPはわが国唯一の総合デザイン振興機関で、「グッドデザイン賞」は「社会を良い方向に導く力を持つデザイン」で、「交意と交響」で、応募点数5715点のうち1560点が受賞した。

RGC株式会社のmadoシリーズは、拓南商事が廃自動車のサイドガラスを破碎収集し、琉球ガラスの職人の手によって製造した100%のハンドメイド商品。

4頁へ

西原グリーンセンターで初 フルハーネス特別教育 拓伸会

9月



拓伸会は、西原グリーンセンターで初めてフルハーネス特別教育を9月13日に実施した。受講者は、同センターに加えて拓南本社、拓南製鐵石灰工場、拓南商事営業部、拓南製作所の12人だった。そこで、拓南本社の長澤孝之氏（安全統括担当）に受講の感想を寄稿してもらつた。

安全意識の高さがうかがえた

拓南本社 長澤孝之

西原グリーンセンターでは、最初の試みとなるフルハーネス特別教育が開催された。

同センターの場合、ゴルフネットの台風対策などの危険な高所作業時に墜落すれば、命に関わる事故となる。サービス業でのこのよう

く、同センターの安全意識の高さがうかがえた。

私も、拓南本社の安全統括担当および事務局係員として初めて受講した。

実技で実際に器具を装着し吊るされてみると、胴ベルトでは腹部が圧迫されて非常に苦しく、姿勢を維持しようとすると腰への負担もとても大きかった。墜落時の衝撃や救助を待つ長時間の腹部圧迫を考えると、その危険性を身をもって感じた。

一方、フルハーネスを装着して同様に吊るされたところ、息苦しさなどが多く非常に楽な姿勢を維持できた。

今回、事務局係員としても初の特別教育参加となつたが、諸先輩方のご協力あって滞りなく開催できた。今後はこの経験を生かして、多くの方に質の高い特別教育を受けてもらえるよう努力し、災害防止に貢献できるよう努めていきたい。ご安全に。



拓伸会関係者16人が参加 福岡市で全国産業安全衛生大会

全国産業安全衛生大会（主催・中央労働災害防止協会）が10月19日から3日間、福岡県福岡市で開催され、拓伸会関係者16人（安全衛生担当管理職）が参加した。そこで同行した拓南本社の長濱直次顧問に寄稿してもらった。

一流企業から秀逸な成果発表

拓南本社 顧問 長濱直次

晩秋を迎えた10月19日から21日までの3日間、福岡マリンメッセで、わが国最大の安全衛生大会「第81回全国産業安全衛生大会（福岡）」が

開催された。コロナの影響もあり、また九州・沖縄地区での開催は実に12年ぶりであった。

研究・実践発表は先進性も含めた現実的なもので、トヨタ自動車、JR東日本、JFEスチール、みずほリサーチなど日本を代表する企業群の担当者から秀逸な成果発表が行われた。

さて、拓伸会参加者は、古波津昇会長を筆頭に拓南本社から外間一成常務取締役、喜屋武智業務部部長と筆者、拓南製鐵から知念正元専務取締役、松井太郎専務取締役、親富祖茂部長、拓南商事から新垣翔課長代理、石川正人主任、拓南製作所から勢理客耕司常務取締役、西原誠課長、西原グリーンセンターから金城勝博統括部長、山内雅

の追求など多彩であった。

研究・実践発表は先進性も含めた現実的なもので、トヨタ自動車、JR東日本、JFEスチール、みずほリサーチなど日本を代表する企業群の担当者から秀逸な成果発表が行われた。

10月



開会の辞

亀谷氏(製鐵)を若手優秀社員表彰

7月

(一社) 沖縄県経営者協会

内閣博務常務取締役、製造技術本部技術部の減當正寛部長と備瀬知亮課長代理が出席して祝福した。

(一社) 沖縄県経営者協会

表彰状を受け取った亀谷

氏は、「若手優秀社員に選ばれ

てとても光榮です。これも職

場の先輩や同僚のサポート

があつてのことなので、周り

に感謝しております。これか

らも進化、成長、発展を求め、

会社の力になれるよう努力

致します」と感想を述べた。

(一社) 沖縄県経営者協会は、会員企業の若手社員を対象に「職務に忠実で業績も優秀であり、他の模範として推奨できる」「誠実かつ円満で職場の人間関係にも寄与している」該当者に対し、令和4年度若手優秀社員表彰を行つた。

亀谷氏の授賞式は7月7日、拓南製鐵の応接室で行われ、知念正元専務取締役、山内雅文副支配人、拓伸商事福岡から安東秀徳常務取締役、薩南物産から日高勝代表取締役副社長そして拓南製鐵協力会社である鉄鋼処理産業から知念敏彦係長の合計16人で、拓伸会史上最多の同大会参加人数であった。

なお、初日に開いた拓伸会参加者の懇親会では、古波津会長の還暦セレモニーが行われ、大いに盛り上がつた。翌日は、福岡の拠点である拓伸商事福岡を全員で訪問し、野崎正彌主任、田代美佳主任とも交流することができた。

この貴重な機会を与えてくださった古波津会長、各社長に感謝いたしますとともに、各職場の安全と衛生にさらに尽力することで返礼をいたしたい。

参加者からは、自社の安全管理活動改善に早速取り組みたいとの積極的な意見が多く聞かれた。大会参加経験は、拓伸会そして沖縄県の安全衛生水準の向上に資するものになると確信した。

文副支配人、拓伸商事福岡から安東秀徳常務取締役、薩南物産から日高勝代表取締役副社長そして拓南製鐵協力会社である鉄鋼処理産業から知念敏彦係長の合計16人で、拓伸会史上最多の同大会参加人数であった。

なお、初日に開いた拓伸会参加者の懇親会では、古波津会長の還暦セレモニーが行われ、大いに盛り上がり上がつた。翌日は、福岡の拠点である拓伸商事福岡を全員で訪問し、野崎正彌主任、田代美佳主任とも交流することができた。

この貴重な機会を与えてくださった古波津会長、各社長に感謝いたしますとともに、各職場の安全と衛生にさらに尽力することで返礼をいたしたい。

参加者からは、自社の安全管理活動改善に早速取り組みたいとの積極的な意見が多く聞かれた。大会参加経験は、拓伸会そして沖縄県の安全衛生水準の向上に資するものになると確信した。

文副支配人、拓伸商事福岡から安東秀徳常務取締役、薩南物産から日高勝代表取締役副社長そして拓南製鐵協力会社である鉄鋼処理産業から知念敏彦係長の合計16人で、拓伸会史上最多の同大会参加人数であった。

なお、初日に開いた拓伸会参加者の懇親会では、古波津会長の還暦セレモニーが行われ、大いに盛り上がり上がつた。翌日は、福岡の拠点である拓伸商事福岡を全員で訪問し、野崎正彌主任、田代美佳主任とも交流することができた。

この貴重な機会を与えてくださった古波津会長、各社長に感謝いたしますとともに、各職場の安全と衛生にさらに尽力することで返礼をいたしたい。

参加者からは、自社の安全管理活動改善に早速取り組みたいとの積極的な意見が多く聞かれた。大会参加経験は、拓伸会そして沖縄県の安全衛生水準の向上に資するものになると確信した。



今回は商事と製作所の4組です

女性はもちろん、男性の育児休業を推進している拓南グループ。育休制度を利用したイクメン（男性社員）とイクボス（育児休業の社員を支える上司）のインタビュー企画第6弾をお届けします。今回は、拓南商業（2ケース）と拓南製作所（2ケース）です。

（拓南本社人事部）



（左から）越知周太郎さん、福本将希常務取締役

拓南商事リサイクル事業部

育児休業を取得したのは
新垣光謙さん、イクボスは
金城誠主任です。

○新垣光謙さん（6月16日）

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
じができる、育児の楽しさや
大変さを感じることができ
ました」

○イクボス・福本将希常務
取締役

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
助かった」と言っていた

（左から）越知周太郎さん、福本将希常務取締役

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
助かる」と思つて、奥さん
へメッセージを。

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）越知周太郎さん、福本将希常務取締役

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）越知周太郎さん、福本将希常務取締役

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）渡嘉敷幸真所長代理兼部長、比嘉佑介さん

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）渡嘉敷幸真所長代理兼部長、比嘉佑介さん

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）渡嘉敷幸真所長代理兼部長、比嘉佑介さん

拓南製作所営業部

育児休業を取得したのは
直杜主任、イクボスは防錆
事業所の富里真史所長です。

○長浜直杜主任（8月5日）

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
が当たっているか不安でし
たが、育児に自信がつきま
した」

○イクボス・富里真史所長

「育児休業を取得をいつ
か？」

○イクボス・富里真史所長

「育児休業を取得をいつ
か？」

○イクボス・富里真史所長

「育児休業を取得をいつ
か？」

○イクボス・富里真史所長

「育児休業を取得をいつ
か？」

た。また、子供中心の生活
となり睡眠時間があまり取
れず大変でしたが、育児だ
けに集中できたのでとても
良かったです。2週間の育
児休業はあつという間でし
たが、育児に自信がつきま
した」

「他の部員のフォローはどう
のよに行いましたか？」

「課長、主任にも手伝っても
らうながら業務分担を行い、
一人の業務が過多にならない
ように気付きました」

「業務方法の見直しを行
ってもらいました。特に上司が積極的に
仕事の分担方法などを提案
してくれたので助かりま
した」

「育休を検討している社員
へメッセージを。」

「子供が生まれると、これまで
の生活が一変します。特に
奥さんは疲労や睡眠不足
などに悩まされるる思いま
での、少しでも支えられ
るように育児休業はとった
ほうがよいと思います」

「子守の大変さを実感でき、
今後奥さんのフォロー等も
増えてくると思いますので、
育児休業での経験を子育て
に生かしてもらいたいと思
います。業務の中心的な人
材が抜ける不安があります。
今後、育児休業がスムーズ
に取得できる体制、システ
ムづくりの必要性を感じま
した」

（左から）富里真史所長、長浜直杜主任



（左から）富里真史所長、長浜直杜主任

拓南製作所営業部

育児休業を取得したのは
營業部の比嘉佑介さん、イ
クボスは鉄筋事業所の渡嘉
敷幸真所長代理兼部長です。

○比嘉佑介さん（9月20日）

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

○イクボス・比嘉佑介さん（9
月30日）

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）渡嘉敷幸真所長代理兼部長、比嘉佑介さん

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）渡嘉敷幸真所長代理兼部長、比嘉佑介さん

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

「育児休業を取得した感想
を。（子供と長い時間接する）
はすこい助かると思つて、
育休は取るべきだと思いま
す」

（左から）渡嘉敷幸真所長代理兼部長、比嘉佑介さん

「育児休業に入るまで」、
部内の引き継ぎなどはど
うに行いましたか？

「奥さん思いの社員が増え
て、良いことだと思います
た」

「育児休業に入るまで」、
部内の引き継ぎなどはど
うに行いましたか？

